AISEI-NEWS
愛整ニュース
175
公益社団法人愛知県柔道整復師会
2026 年 10 月 28 日発行（通巻 470 号）
令和 8 年
https://shadan-aisei.jp/

第 20 回アジア競技大会(2026/愛知･名古屋)
第 5 回アジアパラ競技大会(2026/愛知･名古屋)
柔道競技会場救護活動報告





9 月 27 日から 10 月 3 日まで、愛知国際アリーナ（IG アリーナ）で開催された「第 20 回アジア競技大会（愛知・名古屋アジア競技大会)」柔道競技において、石川副会長、寺尾 俊彦会員（鶴舞)、相羽 悠平会員（半田)、國本 丙基先生（米田病院)、矢藤の柔道整復師 5 名が会場救護活動に従事した。

主な活動は、負傷選手の搬送や畳に付着した血液の清拭などであった。大会期間中は毎朝、医師・看護師を含むメディカルミーティングに参加し、救護体制について情報を共有した。また、頸髄損傷や脳震盪などを想定し、スクープストレッチャーやスパインボードを使用した搬送訓練を行った。

当初は連携や動作に不慣れな場面もあったが、訓練を重ねることで声掛けや役割分担が明確になり、安全かつ迅速な搬送が可能となった。実際の競技中には車椅子による搬送が 2 件あり、訓練で培った連携を生かして対応できた。

今回初めて国際大会の救護に携わり、多職種連携の重要性を学んだ。特に、紙谷 武先生をはじめ医師・看護師の皆様から、傷病者への対応や搬送方法について直接ご指導いただき、貴重な経験となった。

今回得た知識・技術を今後の救護活動に生かすとともに、このような機会をいただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げる。　　（刈谷支部　矢藤 雄也）





10 月 19 日（月）から 21 日（水）まで、愛知県武道館で開催された「第 5 回アジアパラ競技大会（2026／愛知・名古屋)」柔道競技において、会場救護活動に従事した。

活動には、大元 美久会員（半田)、井原 正晴会員（豊橋)、泉 重樹先生（法政大学教授)、國本 丙基先生（米田病院)、堺澤の 5 名が参加した。

選手の安全確保を第一に、毎朝、医師・看護師を含むメディカルミーティングに参加し、救護体制について情報を共有した。また、頸髄損傷や脳震盪などを想定し、スクープストレッチャーやスパインボードを使用した搬送訓練にも参加した。

10 月 20 日（火）には、試合中に肘関節を負傷した選手をスクープストレッチャーで救護室まで搬送した。また、畳に付着した血液を清拭するなど、安全な競技環境の維持にも努めた。

今回の活動を通じ、緊急時の迅速かつ安全な対応や、事前訓練、多職種連携の重要性を改めて認識した。

貴重な機会をいただいた本会及び大会関係者、医師・看護師の皆様に心より感謝申し上げる。今回の経験を今後の救護活動に生かし、柔道整復師としての知識・技術の向上と選手の安全確保に努めたい。　　（岡崎支部　堺澤 正和）

石田姉妹「柔の形」演武







10 月 3 日（土）愛知国際アリーナにて開催された、第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）柔道競技最終日、石田 桃子・真理子姉妹による「柔の形」演武が披露された。（広報部）